



## ユネスコ記憶遺産申請!!



2017年夏 登録予定

日韓共同申請書調印式



東京日韓交流おまつり



ソウル日韓交流おまつり



京都での通信使行列再現



調印式に展示した朝鮮通信使人形

---

## 目 次

- はじめに NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・1

### < 縁地連の活動 >

- 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進状況

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会事務局・・・3

### < 各地域の活動 >

- 全国に広がる大垣の文化 ～奥の細道と大垣祭の軸行事～

岐阜県 大垣市・・・17

- 第5次ウォーク終了と「誠信交隣賞」受賞に感謝！

埼玉県 21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会・・・19

- 勉強会からシンポジウムまで日韓友好に草の根の活動を展開

名古屋市 NPO法人フレンド・アジア・ロード（FAR）・・・22

- 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進事業の報告 滋賀県 長浜市・・・23

- 第11回復活！唐人揃いー朝鮮通信使ー多文化共生・国際交流パレード

暴風雨予報を奇跡的に覆す！

埼玉県 川越市・・・25

- 人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内 岡山県 瀬戸内市・・・27

- まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ輝き海峡都市

山口県 下関市・・・28

- 蘭島文化振興財団からのお知らせ 広島県 蘭島文化振興団体・・・29

- 2015主要行事实績 釜山広域市 財団法人釜山文化財団・・・30

- 2016年度朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会開催地「福山市（鞆の浦）」

広島県 福山市・・・31

○編集後記 NPO縁地連事務局・・・33

○会員名簿・・・34



## はじめに

若草もえる季節となりました。NPO縁地連会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

去る3月13日に敬愛する京都大学名誉教授の上田正昭先生がお亡くなりになりました。上田先生は偏狭なナショナリズムを克服する思想として「国際」ではなく「民際」を提唱され、国家を越えた民衆同士の交流の大切さを説かれました。古代史



李文燮代表理事と調印書を交わしている様子

における先生の残された功績は大きく、縁地連及び朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会も顧問としてご支援いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

さて、2015年度の全国交流会は10年ぶりに大垣市で開催されました。

小川敏市長による開会のご挨拶のあと、滋賀大学の青柳周一先生から朝鮮通信使についての講演がありましたが、スライドを使っただけの講演で、お集まりになられた市民も頷いたり笑われたりされていました。大垣市民の皆様も改めて朝鮮通信使に感心を持たれたのではないかと思います。

翌日には奥の細道むすびの地記念館から美濃路を通っての通信使行列が再現されました。大垣少年少女合唱団や十六町農年踊隊が入り、素晴らしい行列の再現となりました。改めてご尽力いただいた方々に御礼申し上げます。

2015年は日韓国交正常化50周年の節目の年でした。これに伴い各地で日韓友好のイベントが開催されました。中でも10年前から毎年東京とソウルの両首都で開催されている「日韓交流おまつり」では、初めて通信使行列が再現されました。はじめてご覧になった方ばかりで、沿道には大勢の観客が群がり、華やかな行列の様子に何度もシャッターを切っていました。

昨年、通信使行列が再現された場所は、対馬市・下関市・呉市・瀬戸内市・堺市・京都市・静岡市・大垣市・川越市・東京と最多を数えたのではないのでしょうか。

次にユネスコ記憶遺産登録申請の取り組みです。今年度はいよいよ申請書を作り上げ、申請する年でありました。朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会及び日韓共同学

術会議を中心に会議を重ね、2016年1月29日に共同申請書の調印式を対馬市で行い、日韓併せて111件、333点の申請書を2016年3月30日に発送しました。それにしても111件333点とは縁起のよい数字ではないでしょうか？また、日韓共同学術会議は12回行いました。江戸期の通信使の使行も12回です。何やら偶然ではない何かを感じてしまいます。見えない力が働いているようで、登録は間違いないと確信しています。



対馬厳原港まつり(正使は韓国の俳優 イ・ミヌさん)

登録決定は2017年の夏です。それまで気運を盛り上げる広報活動が中心となります。会員皆様の一層のご理解ご支援をお願いいたします。

結びに皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。

来年の3月に福山でお会いしましょう

2016年3月

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一 征



12月8日 釜山での日韓共同報告会

## 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進状況

～日韓共同申請書を提出しました！～

報告：朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産  
日本推進部会事務局



1月29日 調印をしている両代表

2016年3月30日に、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同申請書を、釜山からユネスコ本部へ日韓の事務局長により発送されました。2012年から取り組んで来ました記憶遺産登録推進事業も、大きな節目を迎えたわけです。

この4年間、決してスムーズに進んで来たわけではありません。あるときは韓国側学術委員会と、あるときは日本外務省と厳しいやりとりもありました。松原理事長を先頭に、仲尾委員長をはじめとする学術委員の皆様、また、オブザーバーとして大きな支援をいただいた長崎県と、互いに相談を重ねながら乗り越えて来られたのです。

登録発表は、ユネスコ諮問機構の世界記憶遺産国際諮問委員会（ICA）が審査し、ユネスコ事務局長が登録可否の最終決定を行い、2017年8月前後に発表されると思われます。

しかし、まだまだ安心はできません。ユネスコから申請書内容の修正要請もあるかもしれません。両国の国民的な盛り上がりも必要になってきます。来年度は、広報活動が重要な事業となります。国内では、東京・京都でのセミナー等の開催、未定な部分は多いですが、ユネスコのお膝元パリでユネスコ事務局長等関係者をご招待してのセミナー等を計画しています。登録されるその日まで、会員皆様と一丸となってこの事業を推進して行きましょう。

## 日韓のユネスコ記憶遺産登録推進体制について

### ■朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産

#### 日本推進部会の構成

◎申請者：NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

◎日本推進部会：自治体13・民間団体3  
〈自治体〉

対馬市・下関市・長浜市・壱岐市・近江八幡市・静岡市・瀬戸内市・福山市・呉市・京都市・上関町・日光市・名古屋

〈民間団体〉

芳洲会（長浜市）

朝鮮通信使対馬顕彰事業会（対馬市）

公益財団法人蘭島文化振興財団（呉市）

◎部会長：松原一征（NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 理事長）

副部会長：中尾友昭（下関市 市長）

顧問：西村幸夫（前日本ユネスコ国内委員会委員・東京大学教授）

◎学術委員：6名（委員長1名・副委員長1名）

#### 日本学術委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	仲尾 宏	朝鮮通信使地域史研究部会 会長
副委員長	町田 一仁	下関市立考古博物館 館長
委員	貫井 正之	東海地方朝鮮通信使研究会 代表
委員	倉地 克直	岡山大学 特任教授
委員	齋藤 弘征	対馬市文化財保護審議会 会長
委員	佐々木悦也	長浜市高月観音の里歴史民俗資料館 参事

オブザーバー：北川英一（県立対馬歴史民俗資料館 館長（2014年のみ））

顧問：上田正昭（京都大学名誉教授・高麗美術館館長）

◎事務局：阿比留正臣（事務局長）  
石田万幾子（対馬市役所内）

### ■朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産

#### 韓国推進委員会の構成

◎申請者：財団法人釜山文化財団

◎推進委員：37名（共同委員長3名・顧問2名・副委員長2名）

◎委員長：李文燮（釜山文化財団 代表理事）  
張濟國（東西大学校 総長）

鄭在貞（ソウル市立大学校 教授）

顧問：姜南周（前 釜慶大学校 総長）

李龍欽（一信設計事務所 会長）

副委員長：崔和秀（奉生文化財団 副理事長）

姜大敏（朝鮮通信使学会 会長）

◎実行委員：15名（実行委員長1名）

実行委員長：張濟國（東西大学校 総長）

◎学術委員：11名（委員長1名・副委員長1名）

学術委員長：姜南周（前 釜慶大学校 総長）

#### 韓国学術委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	姜 南 周	(前)釜慶大学校 総長 (前)釜山文化財団 代表理事
副委員長	姜 大 敏	朝鮮通信使学会 会長
委員	許 敬 震	延世大学校 国語国文学科教授
委員	李 薫	翰林大学校 研究教授
委員	金 東 哲	釜山大学校 史学科教授
委員	朴 花 珍	釜慶大学校 史学科教授
委員	鄭 成 一	光州女子大学校 サービス経営学科教授
委員	韓 泰 文	釜山大学校 国語国文学科教授
委員	咸 晷 植	チョンソル漢医院院長
委員	具 智 賢	鮮文大学校 国語国文学科教授
委員	鄭 勳 植	釜山大学校 国語国文学科講師

◎事務局：朴承桓（事務局長）  
金汝昇（釜山文化財団内）

### 〈日本推進部会の予算について〉

#### ■収入の内容

対馬市3年間総額：5,100,000円  
(2014~2016)

長崎県3年間総額：3,650,000円

他市県3年間総額：900,000円

その他：寄付金

年 度	金 額	主 な 支 出 内 容
2014年度決算額	7,764,079円	会議旅費 5,336,414円 学術委員謝礼 510,000円 使用料 467,072円
2015年度予算額	11,862,000円	会議旅費 5,190,000円 英訳・HP委託 3,500,000円 臨時賃金 1,200,000円
2016年度予算額	4,710,000円	HP・PRイベント 2,800,000円 会議旅費 1,050,000円



## 朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産 日本学術委員会経過報告

委員長 仲尾 宏

朝鮮通信使ユネスコ日本学術委員会は、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会に組織されました朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会の学術的諮問機関として、2014年6月21日に神戸市において設立されました。

朝鮮通信使を主たる研究テーマとしている歴史研究者3名、並びに朝鮮通信使資料の発掘や保存に係わって来た文化財保護の分野において十分な経験と専門知識を有する3名の合計6名により構成されています。

設立の日から延べ10回にわたり日本学術会議を開催しました。まず、資料リストの選定に着手しました。日本における朝鮮通信使関係資料は、通信使が通ったルート以外の場所でも発見されており、数えきれないほど残っています。その中から一つひとつ選定するのは至難の業です。

ユネスコには重要な基本的基準があります。真正性と唯一性、希少性と完全性、来歴の明確さと世界史的重要性です。このようなユネスコの記憶遺産選定基準に照らし、日本学術委員会では、二つの選定基準を設定いたしました。

まず一つ目は、国・県・市町の文化財指定がしてあることです。すでに文化財指定であれば、その文化的価値としての重要性は明かであり、真正性も担保されます。また保存についても自治体等が責任をもっています。

二つ目は博物館、資料館、図書館等公共的な所蔵機関に保管・管理されているものです。中には文化財指定をされていない貴重で重要な資料があります。こうした公的機関が所蔵管理していれば、保存管理に問題がなく、ユネスコの保存管理基準を満たすことができるからです。この二つの基準をどちらか満たす資料に限りしました。

関係自治体に推薦する資料を提案していただき、この基準に沿って選定作業を行いました。中には東京国立博物館所蔵の国書や大阪歴史博物館の辛基秀コレクションなど、日本学術委員会が登録すべき資料として独自に提案し選定しているものもあります。また、各委員が手分けをし、各所蔵所に足を運び現地調査も実施しております。

また、日韓共同による学術会議は12回開催されました。日韓共同学術会議では、今回の登録資料の期間を日本の江戸期、つまり1607年～



ソウルでのシンポジウムの様子

1811年の12回の通信使使行を対象にすること、また、外交記録、旅程の記録、文化交流関係記録という3つのジャンルに分けることなどを協議し、双方の合意を確認しました。

また、日韓双方の選定した資料について共同で検討し、最終リストの決定を行いました。また、申請書本文の作成、別紙資料の作成など、日韓の学術委員による申請書作成が進められ、1月の12日に最終案が固まったところです。

「朝鮮通信使に関する記録」の世界史的な重要性についても述べたいと思います。

朝鮮通信使の往来は、単に戦争再発を防ぐための暫定的な処置を超え、持続的に平和体制を模索しました。約200年間あまり、朝鮮通信使の往来を繰り返しながら、両国は平和的外交の方法と理論を確立しました。その詳細な内容が日韓の多くの資料に記録されています。

今回の資料リストは、通信使往来の原則と目的などについての具体的な記録であり、まさに朝鮮通信使往来の総合的な記録資産と言えます。また、朝鮮通信使の往来に行われた数多くの文化交流の記録は「通信」の実践的な結果物であります。

このように朝鮮通信使の記録物は長い間、平和体制の構築を目的に行われた外交的实践の結果物であるという点で、世界史的重要性を持っています。この点で、朝鮮通信使の記録物は17世紀～19世紀の東アジアだけでなく、現在も戦争と葛藤を越えて人類の平和的な共存と交流を追求する上で、模範的なテキストになることができると考えます。

さらに付け加えると、「朝鮮通信使に関する記録」は、過去の平和構築と文化交流を伝える文化財として、今も現地の人々によって大切に保存されている点に大きな特徴があります。文化財は文化を証明するものであり、未来を創造する糧となるものであります。この記録が両国の未来のみならず、東アジア、ひいては世界の平和構築と相互理解に大きく貢献するものであることはいうまでもありません。必ずやユネスコ記憶遺産に登録される価値があると信じています。

## ユネスコ記憶遺産日本推進部会・日本学術委員会の 事業実施状況

### ◆2012年

- '12. 5. 5 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会釜山大会開催  
ーユネスコ共同登録推進提案（釜山文化財団）
- '12.10. 1 特別講演会 ユネスコ登録への道をさぐる（対馬市）
- '12.10.19 朝鮮通信使ユネスコ文化遺産登録国際シンポジウム参加（釜山市）
- '12.11.21 縁地連臨時大会において事業推進を決議（京都市）

### ◆2013年

- '13. 6.12 文科省・外務省訪問、政府  
要望書提出
- '13. 7～8 日本側の資料について  
データ整理作業
- '13.10.18 縁地連・長崎県・研究部会  
と三者会議
- '13.11. 2 縁地連瀬戸内大会において  
専門部会設置承認



日本推進部会の様子

### ◆2014年

- '14. 1.21 第2回三者会議（縁地連・長崎県・研究部会）
- '14. 3. 4 釜山文化財団と朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産登録関連協議（釜山）
- '14. 5.21 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会設立（長浜市）
- '14. 5.22 文科省等関係機関への報告
- '14. 6.23 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会設立（神戸市）
- '14. 8. 8 第2回日本推進部会（京都市）
- '14. 8.24 第2回日本学術委員会ー概要案・リスト案検討
- '14. 8.25 第1回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓合同推進会議（下関市）
- '14. 9.16 第1回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓合同代表者会議（福岡市）
- '14.10. 6 第3回日本学術委員会（大阪市）
- '14.10.27 第3回日本推進部会（岡山市）
- '14.11. 3 第4回日本学術委員会（川越市）
- '14.12.20 第1回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議（釜山市）

### ◆2015年

- '15. 1.15 舞鶴市引揚記念館訪問 申請経緯聴取
- '15. 1.16 第5回日本学術委員会（岡山市）
- '15. 1.31 第2回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓代表者・共同学術会議（長崎市）
- '15. 2. 1 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録シンポジウム（長崎市）
- '15. 2.23 文科省・外務省報告、交流議員の会 河村会長面談
- '15. 3. 6 第3回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議（下関市）



- '15. 3.25 第6回日本学術委員会 (岡山市)
- '15. 4. 3 第4回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産  
日韓共同学術会議 (釜山市)  
- 暫定リスト確定
- '15. 4.10 京都大学図書館資料調査
- '15. 4.15 リスト資料カード作成依頼 (事務局)
- '15. 4.16 第4回日本推進部会 (岡山市)
- '15. 5. 1 第2回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産  
日韓合同推進会議 (釜山市)  
- 暫定リストの発表
- '15. 5.11 第7回日本学術委員会 (岡山市)
- '15. 7. 9 第8回日本学術委員会及び  
第5回通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議 (代表者会議) (福岡市)
- '15. 7.14 高麗美術館資料調査
- '15. 8.23 第9回日本学術委員会 (下関市)
- '15. 8.24 第6回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議 (下関市)  
- 登録対象関連追加及び申請書作成関連論議
- '15. 9. 4 壱岐市資料調査
- '15. 9.30 第10回日本学術委員会 (岡山市)
- '15.10. 2 第7回朝鮮通信使ユネスコ記憶  
遺産日韓共同学術会議 (釜山市)  
- 申請書案検討
- '15.10.15 日本学術委員会申請書編成会議  
(岡山市)
- '15.10.20 東京国立博物館訪問
- '15.10.21 文科省、外務省訪問-推進状況報告
- '15.10.28 第4回日本推進部会 (名古屋市)
- '15.11. 7 第8回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議 (大阪市)
- '15.12. 2 第9回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議 (代表者会議) (釜山市)
- '15.12. 8 第10回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術会議 (釜山市)  
- 申請書内容の確認と決定  
朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同登録推進経過報告会  
(釜山市 APECハウス)



休憩時間に対応を協議する  
日本学術委員会



日韓学術会議の様子

◆2016年

- '16. 1.12 第11回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同学術代表者会議 (福岡)  
- 最終案決定、調印式協議
- '16. 1.29 第3回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同推進会議  
朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓共同申請書調印式 (対馬市)
- '16. 2.10 朝鮮通信使交流議員の会説明会開催 (東京 第2衆議院会館)  
(文科省・外務省同席)
- '16. 3. 4 第12回朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓代表者会議 (釜山)
- '16. 3.25 申請書英訳文内容確認会議 (福岡)
- '16. 3.30 ユネスコ委員会へ申請書提出 (釜山市 郵送・電送)

## ユネスコ世界記憶遺産登録申請書

申請案件名：朝鮮通信使に関する記録

－ 17世紀～19世紀の日韓間の平和構築と文化交流の歴史

### ◆概要

朝鮮通信使に関する記録は、1607年から1811年までの間に、日本の江戸幕府の招請により12回、朝鮮国から日本国へ派遣された外交使節団に関する資料である。

この資料は、歴史的な経緯から韓国と日本国に所在している。

朝鮮通信使は、16世紀末に日本の豊臣秀吉が朝鮮国に侵略を行ったために途絶した国交を回復し、両国の平和的な関係を構築し維持させることに大きく貢献した。朝鮮通信使に関する記録は、外交記録、旅程の記録、文化交流の記録からなる総合資産であり、朝鮮通信使が往来する両国の人々の憎しみや誤解を解き、相互理解を深め、外交のみならず学術・芸術・産業・文化などのさまざまな分野において活発に交流がなされた成果である。

この記録には悲惨な戦争を経験した両国が平和な時代を構築し、これを維持していくための方法と知恵が凝縮されており、「誠信交隣」を共通の交流理念として、対等な立場で相手を尊重する異民族間の交流を具現したものである。その結果、両国はもとより東アジア地域にも政治的安定をもたらしたとともに、交易ルートも長期間、安定的に確保することができた。

ゆえに、この記録は両国の歴史的経験に裏付けられた平和的・知的遺産であり、恒久的な平和共存関係と異文化尊重を志向する人類共通の課題を解決するものとして、顕著で普遍的な価値を有している。

### ◆申請する記録物との関係性（抜粋）

朝鮮通信使に関する記録は、両国の国家及び地域の行政機関・博物館または大学などに保存されている。朝鮮通信使が長い距離を往来しながら歴史的痕跡を残してきたため、それに関する記録が路程の主要都市（縁地）において伝世していることは当然のことであり、そのことがこの記録のあり方を特徴づけている。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会と財団法人釜山文化財団は、これまでの朝鮮通信使を顕彰し普及するための多様な事業経験を基に、朝鮮通信使の歴史的・世界的意義をより広く普及するためには、関連記録をユネスコ記憶遺産に登録することが必要だという認識を共有したのである。そこで、両国で各自推進委員会を発足させ、傘下に学術委員会を構成し朝鮮通信使関連記録の調査・整理、並びにユネスコ記憶遺産としての妥当性と価値などに関する研究と討論を進めてきた。さらに両国の処々に保管されている朝鮮通信使に関する記録の目録作成、科学的保存状態の検討、データベース化などを通し、誰にでも朝鮮通信使の関連記録を閲覧できるようにし、朝鮮通信使が求めてきた平和交流の意義を広く知らせる目的から共同登録申請の主体になったのである。

## 日本側の登録対象リスト

総数48件(209点)

### I 外交記録 (3件19点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	朝鮮国書	1607 1617	対馬藩作成	1607 1617	3	京都大学総合博物館	重要文化財
2	朝鮮国書	1617 ほか	対馬藩作成 朝鮮王朝	1617 ほか	15	東京国立博物館	重要文化財
3	正徳元年朝鮮通信使進物目録 毛利吉元宛	1711	通信使	1711	1	山口県立山口博物館	重要文化財

### II 旅程の記録 (27件69点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	朝鮮信使御記録(県庁伝来旧藩記録)	1711	長州藩	1711 ・12	13	山口県文書館	
2	福岡藩朝鮮通信使記録(黒田家文書)	1763 ~64	福岡藩	1763 ・64	15	福岡県立図書館	
3	甲申韓人来聘記事	1763 ~64	尾張藩 (松平君山)	1764	1	名古屋市蓬左文庫	
4	小倉藩朝鮮通信使対馬易地聘礼記録 (小笠原文庫)	1811	小倉藩	1811	6	福岡県立育徳館高校錦陵同 窓会、みやこ町歴史民俗博 物館寄託	福岡県指定
5	朝鮮通信使迎接所絵図(土肥家文書)			18世紀	1	土肥純子	彦岐市指定
6	江洲蒲生郡八幡町惣絵図			1700 頃	1	近江八幡市 (旧伴伝兵衛家土蔵)	近江八幡市 指定
7	正徳度朝鮮通信使行列図巻	1711	対馬藩(俵喜 左衛門ほか)	1711	3	大阪歴史博物館	
8	朝鮮信使参着帰路行列図	1711	対馬藩(俵喜 左衛門ほか)	1711	4	(公財)高麗美術館	
9	宗対馬守護行路行列図	1711	対馬藩(俵喜 左衛門ほか)	1711	4	(公財)高麗美術館	
10	延享五年朝鮮通信使登城行列図	1747 ~48	郡司某	1748	1	下関市立長府博物館	
11	朝鮮国信使絵巻(上下巻)		対馬藩	17~ 18世紀	2	長崎県立対馬歴史民俗 資料館	重要文化財
12	朝鮮国信使絵巻(文化度)	1811	対馬藩	19世紀	1	長崎県立対馬歴史民俗 資料館	重要文化財
13	天和度朝鮮通信使登城行列図屏風	1682		17世紀	1	大阪歴史博物館	



No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
14	朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図	1748		1748	1	呉市(公財)蘭島文化振興財団(松濤園)管理	呉市指定
15	朝鮮通信使船上関来航図	1763 ~64		18世紀	1	宗教法人超専寺	上関町指定
16	正徳度朝鮮通信使国書先導船図屏風	1711		1711頃	1	大阪歴史博物館	
17	正徳度朝鮮通信使上々官第三船図 供船図	1711		1712	2	大阪歴史博物館	
18	朝鮮通信使御楼船図屏風			18世紀	1	大阪歴史博物館	
19	朝鮮人物旗杖轎輿之図	1811	猪飼正毅	19世紀	1	名古屋市蓬左文庫	
20	七五三盛付繰出順之絵図		対馬藩	18世紀	1	長崎県立対馬歴史民俗資料館	重要文化財
21	朝鮮人御輿七五三膳部図	1811	猪飼正毅	19世紀	1	名古屋市蓬左文庫	
22	馬上才図巻		広波雪之進	18世紀	1	松原一征 長崎県立対馬歴史民俗資料館寄託	対馬市指定
23	馬上才図		二代目 鳥居清信	18世紀	1	(公財)高麗美術館	
24	琵琶湖図		円山応震	1824	1	滋賀県立琵琶湖文化館	
25	朝鮮通信使小童図	1711	英一蝶	18世紀	1	大阪歴史博物館	
26	釜山浦富士図		狩野典信	18世紀	1	大阪歴史博物館	
27	朝鮮通信使欲待図屏風	1655	狩野益信	17世紀	2	宗教法人泉湧寺	京都市指定

### Ⅲ 文化交流の記録 (18件121点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	雨森芳洲関係資料	1711 1719	雨森芳洲ほか	18世紀	36	芳洲会 高月観音の里歴史民俗資料館寄託	重要文化財 長浜市指定
2	朝鮮通信使副使任守幹 壇ノ浦懐古詩	1711	任守幹	1711	1	宗教法人赤間神宮	下関市指定
3	福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係資料	1711 1747 ~48	趙泰徳・李邦彦 洪啓禧ほか	1711 1747 ・48	6	宗教法人福禅寺 福山市納の浦歴史民俗資料館寄託	福山市指定

朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会事務局

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
4	本蓮寺朝鮮通信使詩書	1643 1655 1711	申濡・朴安期 趙珩ほか	1643 1655 1711	9	宗教法人本蓮寺 岡山県立博物館寄託	岡山県指定
5	朝鮮通信使従事官李邦彦詩書	1711	李邦彦	1711	1	宗教法人本願寺八幡別院	近江八幡市 指定
6	清見寺朝鮮通信使関係資料	1643 ほか	朴安期ほか	1643 ほか	48	宗教法人清見寺	静岡県指定
7	金明国筆 拾得図	1636 or43	金明国 画 無等 賛	1636 or43	1	下関市立長府博物館	
8	波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩並筆語	1763 ~64	南玉・成大中 元重 篆	1763 ・64	6	波田兼昭 下関市立長府博物館寄託	下関市指定
9	韓客詞章	1711	趙泰億ほか	1711	4	宗教法人慈照院	京都市指定
10	瀨相八景図巻	1682	狩野清真 画 李鵬溟 賛	1682	1	大阪歴史博物館	
11	寿老人図	1636	荷澹 画 古賀精里 賛	1636	1	大阪歴史博物館	
12	松下虎図	1763 ~64	卞璞	1764	1	大阪歴史博物館	
13	朝鮮国王孝宗親筆額字	1655	孝宗	1655	1	宗教法人輪王寺	栃木県指定
14	東照社縁起(仮名本) 5巻のうち第4巻	1636	狩野探幽ほか	1640	1	宗教法人東照宮	重要文化財
15	東照社縁起(真名本)3巻のうち中巻	1636	親王・公家	1640	1	宗教法人東照宮	重要文化財
16	宝暦十四年朝鮮通信使正使趙職書帖	1763 ~64	趙職	1764	1	下関市立長府博物館	
17	彦根藩岡本半介筆録 任統謝詩並岡本半介 唱酬詩	1636	岡本半介	1637	1	大阪歴史博物館	
18	朝鮮国三使口占聯句	1682	尹趾完・李彦綱 朴慶後	1682	1	名古屋市蓬左文庫	



## 韓国側の登録対象リスト

総数63件(124点)

## I 外交記録 (2件32点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	通信使謄録		禮曹	1641-1811	14	ソウル大学校奎章閣	
2	邊例集要		禮曹 典客司	1841以後	18	ソウル大学校奎章閣	

## II 旅程の記録 (38件67点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	慶七松海槎録	1607	慶暹	1607	1	国立中央図書館	
2	吳秋灘東槎上日記	1617	吳允謙	1617	1	国立中央図書館	
3	李石門扶桑録	1617	李景稷	1617	1	国立中央図書館	
4	東槎日記	1617	朴梓	1617	1	ソウル大学校奎章閣	
5	姜弘重東槎録	1624	姜弘重	1624	1	国立中央図書館	
6	任叅判丙子日本日記	1636	任統	1636	1	国立中央図書館	
7	金東溟海槎録上・下	1636	金世濂	1636	2	国立中央図書館	
8	金東溟槎上録	1636	金世濂	1636	1	国立中央図書館	
9	黃漫浪東槎録	1636	黃辰	1636	1	国立中央図書館	
10	趙龍洲東槎録 申竹堂海槎録上	1643	趙綱 申濡	1643 1643	1	国立中央図書館	
11	申竹堂海槎録 癸未東槎日記	1643	申濡 作者未詳	1643 1643	1	国立中央図書館	
12	南壺谷扶桑録上・下	1655	南龍翼	1655	2	国立中央図書館	
13	南壺谷間見別録	1655	南龍翼	1655	1	国立中央図書館	
14	洪譚士東槎録	1682	洪禹載	1682	1	国立中央図書館	
15	金譚士東槎日録	1682	金指南	1682	1	国立中央図書館	
16	申青川海遊録上・中・下	1719 ~20	申維翰	1719	3	国立中央図書館	
17	扶桑録	1719 ~20	金滄	1719	2	国立中央図書館	
18	隨槎日録	1747 ~48	洪景海	1747	2	ソウル大学校奎章閣	



朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会事務局

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
19	奉使日本時間見録	1747 ~48	曹命采	1748	2	ソウル大学校奎章閣	
20	趙濟谷海槎日記 一~五	1763 ~64	趙嘏	1763	5	国立中央図書館	
21	日観記	1763 ~64	南玉	1763	4	大韓民国国史編纂委員会	
22	日観唱酬	1763 ~64	南玉	1763	2	国立中央図書館	
23	日観詩草	1763 ~64	南玉	1763	2	国立中央図書館	
24	日本録	1763 ~64	成大中	1763	2	高麗大学校図書館	
25	乗槎録	1763 ~64	元重學	1763	5	高麗大学校図書館	
26	槎録	1763 ~64	閔惠洙	1763	1	高麗大学校図書館	
27	溟槎録	1763 ~64	吳大齡	1763	1	国立中央図書館	
28	癸未隨槎録	1763 ~64	卞琢	1763	1	国立中央図書館	
29	日東壯遊歌	1763 ~64	金仁謙	1763	4	ソウル大学校奎章閣	
30	辛未通信日録	1811	金履喬	1811	3	忠清南道歴史文化研究院	
31	清山島遊録	1811	金善臣	1811	1	国立中央図書館	
32	東槎録	1811	柳相弼	1811	1	高麗大学校図書館	
33	仁祖2年通信使行列圖	1624	作者未詳	1624	1	国立中央図書館	
34	仁祖14年通信使入江戸城圖	1636	作者未詳	1636	1	国立中央博物館	
35	肅宗37年通信使行列圖	1711	依喜左衛門	1711	4	大韓民国国史編纂委員会	
36	槎路勝區圖	1748	李聖麟	1748	1	国立中央博物館	
37	倭館圖	1783	卞璞	1783	1	国立中央博物館	
38	國書樓船圖	未詳	作者未詳	未詳	1	国立中央博物館	

Ⅲ 文化交流関係記録 (23件25点)

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
1	金世濂等筆跡(詩)	1636	金世濂等	1636	1	大韓民国国史編纂委員会	
2	兪瑒筆跡(詩)	1655	兪瑒	1655	1	大韓民国国史編纂委員会	

No.	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量	所蔵	備考
3	李明彦筆跡(詩)	1719 ~20	李明彦	1719	1	大韓民国国史編纂委員会	
4	朝鮮通信使詩稿	1811	皮宗鼎	1811	1	国立海洋博物館	
5	金義信書帖	1655	金義信	17世紀	1	釜山博物館	
6	桑東益筆行書	1811	桑東益	19世紀	1	釜山博物館	
7	達磨折蘆渡江圖	1636	金明國	1640 年代	1	国立中央博物館	
8	墨梅圖	1763 ~64	卞璞	1764	1	釜山博物館	
9	石蘭圖	1763 ~64	金有聲	1764	1	釜山博物館	
10	鷹圖	1811	李義養	1811	1	釜山博物館	
11	山水圖	1811	李義養	1811	1	釜山博物館	
12	山水圖	1811	李義養	1811	1	釜山博物館	
13	山水圖	1811	松菴	1811	1	釜山博物館	
14	花鳥圖	1811	李義養	1811	1	国立海洋博物館	
15	花鳥圖	1811	槐園	1811	1	釜山博物館	
16	朝鮮通信使奉別詩稿	1811	松崎謙堂等	1811	1	国立海洋博物館	
17	趙泰億像	1711	狩野常信	1711	1	国立中央博物館	
18	芙蓉雁圖屏風1雙	1747 ~48	狩野宴信	1748	2	国立古宮博物館	
19	源氏物語團扇屏風	18世紀	長谷川光信	18世紀	1	国立古宮博物館	
20	牡丹圖屏風	1811	狩野師信	1762	1	国立古宮博物館	
21	義軒・成夢良筆行書	1719 ~20	義軒・成夢良	18世紀	1	釜山博物館	
22	朝鮮通信使酬唱詩	1682	山田復軒等	1683	1	国立海洋博物館	
23	東槎唱酬集	1763 ~64	成大中等	1764	2	国立中央図書館	

## 日本側の登録申請リスト詳細情報

番号	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量
I-1	朝鮮国書				3通
	1 李昞書契及別幅	1607	対馬藩作成	1607	2通
	2 李瑋書契	1617	対馬藩作成	1617	1通
I-2	朝鮮国書				15通
	1 李瑋別幅	1617	対馬藩作成	1617	1通
	2 李侗書契及別幅	1643	朝鮮王朝	1643	2通
	3 李漢書契及別幅	1655	朝鮮王朝	1655	2通
	4 李煇別幅	1682	朝鮮王朝	1682	1通
	5 李煇書契	1711	朝鮮王朝	1711	1通
	6 李煇書契及別幅	1719	朝鮮王朝	1719	2通
	7 李吟書契及び別幅	1747 ~48	朝鮮王朝	1747	3通
	8 李吟書契及別幅	1763 ~64	朝鮮王朝	1763	2通
9 李昞別幅	1811	朝鮮王朝	1811	1通	
II-1	朝鮮信使御記録(興行伝来旧藩記録)				13冊
	1 朝鮮信使御記録目録	1711	長州藩	1711	1冊
	2 朝鮮信使御記録 一~十二	1711	長州藩	1711 ~12	12冊
II-2	福岡藩朝鮮通信使記録(黒田家文書)				15冊
	1 朝鮮人來聘記	1763 ~64	福岡藩	1763	11冊
	2 朝鮮人帰国記	1763 ~64	福岡藩	1764	4冊
II-4	小倉藩朝鮮通信使対馬島地聘礼記録				6冊
	1 対州御下向海陸日記	1811	小倉藩	1811	2冊
	2 対州御下向小倉5海上日記	1811	小倉藩	1811	1冊
	3 対州御滞留日記	1811	小倉藩	1811	1冊
	4 対州御在館中日記	1811	小倉藩	1811	1冊
	5 従朝鮮国進献御品守護海陸日記	1811	小倉藩	1811	1冊
III-1	雨森芳洲関係資料				36点
	1 交隣提醒		雨森芳洲	1728	1冊
	2 全一道人		雨森芳洲	1729	1冊
	3 交隣大断録		雨森芳洲	江戸中期	1冊
	4 送使約條私記		雨森芳洲	江戸中期	1冊
	5 国書書改惣論	1711	雨森芳洲	1711	1冊
	6 綱絢風雅集・同附集	1711	雨森芳洲	1711	8冊
	7 韓客唱和集	1711	雨森芳洲	1711	6冊
	8 信使一件并集書	1711	雨森芳洲	1711	2冊
	9 鹿金氏宛申進翰詩文	1719	申進翰書 雨森芳洲筆力	1719	1冊
	10 李東郭書状		李東郭	江戸中期	1通
	11 雨森芳洲了簡書草案	1711	雨森芳洲	1711	1巻
	12 李東郭七律	1711	李東郭	1711	1点
	13 道以書翰(玄鏡谷筆)		玄鏡谷	1726	1通
	14 李東郭七律 附雨森芳洲論語		李東郭 雨森芳洲	1713 1737	1幅
	15 李東郭七絶「遊仙詩」	1711	李東郭	1711	1幅
	16 雨森芳洲肖像			江戸中期	1幅
	17 雨森芳洲跋書控		雨森芳洲著	1753	1冊
	18 京都唱酬	1711	原著1711		1冊
	19 三宅滄溟通信使一行詩文筆談集	1711	原著1711		1冊
	20 韓使五山唱和集	1711	雨森芳洲力	1711	1冊
	21 朝鮮信使東槎紀行			江戸中期	1冊
	22 誠信堂記		雨森芳洲撰	原著1730	1点
23 雨森芳洲上申書控			江戸中期	1巻	

番号	件名(名称)	使行年	制作者	制作年代	数量
III-3	福禪寺対潮樓朝鮮通信使関係資料				6点
	1 「日東第一形勝」額字	1711	李邦彦	1711	1枚
	2 「対潮樓」額字	1747 ~48	洪景海	1748	1枚
	3 朝鮮通信使正使趙泰傳詩書	1711	趙泰傳	1711	1幅
	4 朝鮮通信使副使任守幹詩書	1711	任守幹	1711	1幅
	5 朝鮮通信使從事官李邦彦詩書	1711	李邦彦	1711	1幅
	6 韓客詞花	1747 ~48	洪景海 南泰書ほか	1748	1巻
III-4	本蓮寺朝鮮通信使詩書				9幅
	1 朝鮮通信使從事官申瀾詩書	1643	申瀾	1643	1幅
	2 朝鮮通信使從事官申瀾詩書	1643	申瀾	1643	1幅
	3 朝鮮通信使製造官朴安期詩書	1643	朴安期	1643	1幅
	4 朝鮮通信使正使趙珩詩書	1655	趙珩	1655	1幅
	5 朝鮮通信使副使兪瑒詩書	1655	兪瑒	1655	1幅
	6 朝鮮通信使副使任守幹詩書	1711	任守幹	1711	1幅
	7 朝鮮通信使李邦彦詩書	1711	李邦彦	1711	1幅
	8 朝鮮通信使從事官書記南聖重詩書	1711	南聖重	1711	1幅
9 朝鮮通信使製造官李瑗詩書	1711	李瑗	1711	1幅	
III-6	清見寺朝鮮通信使関係資料				48点
	1 朴安期詩書	1643	朴安期	1643	1枚
	2 趙珩詩書	1655	趙珩	1655	1枚
	3 兪瑒詩書	1655	兪瑒	1655	1枚
	4 南龍翼詩書	1655	南龍翼	1655	1幅
	5 趙泰傳詩書	1711	趙泰傳	1711	2枚
	6 任守幹詩書	1711	任守幹	1711	1枚
	7 李邦彦詩書	1711	李邦彦	1711	1枚
	8 南聖重詩書	1711	南聖重	1711	2枚
	9 洪啓禧詩書	1747 ~48	洪啓禧	1748	2枚
	10 洪啓禧・南泰書・曹命采詩書	1747 ~48	三使	1748	1枚
	11 南泰書詩書	1747 ~48	南泰書	1748	1枚
	12 曹命采詩書	1747 ~48	曹命采	1748	2枚
	13 朴敬行詩書	1747 ~48	朴敬行	1748	2枚
	14 李鳳煥詩書	1747 ~48	李鳳煥	1748	2枚
	15 李命啓詩書	1747 ~48	李命啓	1748	2枚
	16 柳返詩書	1747 ~48	柳返	1748	1枚
	17 趙暲詩書	1763 ~64	趙暲	1764	1枚
	18 李仁培詩書	1763 ~64	李仁培	1764	1枚
	19 金相翊詩書	1763 ~64	金相翊	1764	2枚
	20 南玉詩書	1763 ~64	南玉	1764	2枚
	21 元重拳詩書	1763 ~64	元重拳	1764	3枚
	22 成大中詩書	1763 ~64	成大中	1764	5枚
	23 金仁謙詩書	1763 ~64	金仁謙	1764	3枚
	24 李海文詩書	1763 ~64	李海文	1764	1枚
	25 卞僕詩書	1763 ~64	卞僕	1764	1枚
	26 洪善輔詩書	1763 ~64	洪善輔	1764	2枚
	27 昭和元年(皇曆14年)通信使書記書上	1763 ~64	通信使書記	1764	1枚
	28 槐翁筆 慶長12年朝鮮通信使詩	1607	槐翁	17~18世紀	2曲1隻
	29 清見寺第11世閻帳主忍書状	1764	閻帳主忍	1764	1枚
30 清見寺第11世閻帳主忍詩書	1764	閻帳主忍	1764	1枚	
III-8	波田蕪山朝鮮通信使唱酬詩並筆語				6点
	1 朝鮮通信使製造官南玉筆語書	1763 ~64	南玉	1763 ~64	1枚
	2 朝鮮通信使製造官南玉詩書	1763 ~64	南玉	1763 ~64	1枚
	3 朝鮮通信使正使書記成大中華語書	1763 ~64	成大中	1763 ~64	1枚
	4 朝鮮通信使副使書記元重拳筆語書	1763 ~64	元重拳	1763 ~64	1枚
	5 朝鮮通信使副使書記元重拳詩書	1763 ~64	元重拳	1763 ~64	1枚
	6 朝鮮通信使副使書記元重拳詩書(長歌)	1763 ~64	元重拳	1763 ~64	1枚



資料カード抜粋

I. 外交記録



資料名：朝鮮国書

徳川将軍秀忠が1607年の朝鮮通信使から接受した国書及び別幅（進物目録）、並びに1617年の朝鮮通信使から接受した国書の3点である。

これらは朝鮮通信使が持参した朝鮮国書を対馬藩が改作したものであるが、これを秀忠が接受したことで、日朝間の国交が回復した。

断絶していた両国間の国交が特異な形で再開されたことを示す貴重な資料である。

II. 旅程の記録



資料名：朝鮮通信使小童図

馬に乗る通信使の一員（小童）に対して日本人が紙を掲げ、揮毫を受けている様子が描かれている。

中央右に配された令旗の存在から通信使一行の人物であることがわかる。

当時、通信使一行と日本の一般人との接触は原則認められていなかったが、揮毫を求めたり筆談唱和など、さかんに交流は行われていた。

画者：英一蝶（1652～1724）の生没年と経歴等から、本作は1711年に来日した通信使に刺激を受けて描かれたものと考えられる。

III. 文化交流関係記録

日東第一景勝

資料名：福禅寺対潮楼  
朝鮮通信使関係資料

広島県福山市鞆の浦の福禅寺に伝来する朝鮮通信使の詩文である。

朝鮮通信使は、福禅寺の対潮楼から眺めた瀬戸内海の景色を激賞し、ここでの詩作を楽しみとした。

1711年使行の三使の詩3点、同従事官李邦彦が揮毫した「日東第一景勝」額字、1747～48年使行の三使と随員の詩作9首を一巻に仕立てた「韓客詞花」、同随員の洪景海が揮毫した「対潮楼」額字が遺る。

対潮楼は1748年7月、洪景海の父にあたる正使洪啓禧が命名したと伝わる。

これらの詩文は福山藩の学者などに学問的影響を与えた。



## 全国に広がる大垣の文化 ～奥の細道と大垣祭の軸行事～

### 1. 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in おおがきの開催



全国交流会での記念講演の様子

平成27年11月14日(土)、15日(日)の両日に平成27年度朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in おおがきを開催したところ、多くの加盟団体の皆様にご来場いただきました。

大垣市総合福祉会館での全国交流会では、一般参加を含めて約200名の皆さんをお迎えし、滋賀大学経済学部教授の青柳周一先生による「史料から見る朝鮮通信使の足あと」と題した講演と韓国伝統音楽団体によるコムゴ演奏などが披露されたほか、美濃路と大垣駅通りを舞台にした朝鮮通信使行列では、朝鮮通信使の影響を受けたと古くから伝わる十六町豊年踊が7年振りに行われ、多くの方に朝鮮通信使の文化を体感していただきました。



全国交流会での記念講演の様子



記念講演：青柳周一先生



朝鮮通信使行列の再現



交流晩餐会の様子

## 2. 第29回奥の細道サミット開催と入館者100万人達成に向けて



奥の細道むすびの地記念館

俳人・松尾芭蕉が紀行文学『奥の細道』の旅を終えた「むすびの地」として知られる大垣は、奥の細道関連市町や団体とともに「奥の細道サミット」を昭和63年に立ち上げて以降、奥の細道を顕彰するとともに広域連携を進めています。

第29回奥の細道サミット会議を平成28年10月1日(土)、2日

(日)に大垣で開催することが決定しており、当日は、全国から多くの観光客にご参加いただけるよう、記念講演をはじめ奥の細道関連施設や史跡を巡るエクスカージョンを開催する予定で準備を進めています。

また、『奥の細道』の多様な魅力や面白さを紹介している奥の細道むすびの地記念館では、平成27年11月に入館者90万人を達成し、平成28年中にも100万人に達する見込みであるほか、200インチの3D映像により壮大な『奥の細道』の旅空間を感じとっていただけるシアターでは、今年3月から『奥の細道』北陸路編を紹介する新たな映像を追加し、多くの方のご来場をお待ちしております。

## 3. ユネスコ無形文化遺産候補「大垣祭の軸行事」

城下町大垣の総氏神とされる大垣八幡神社の例祭として行われる「大垣まつり」は、360年余の伝統を誇り、今年は5月14日(土)、15日(日)に行われます。

平成27年3月に「大垣祭の軸行事」として、国の重要無形民俗文化財に指定されており、藩主から賜ったとされる3両の軸と町衆がつくった10両の軸、全13両が曳き回されます。八幡神社前では、人形からくりや子ども踊りなどの多様な芸能が披露されます。

平成28年中にも全国32件の山・鉦・屋台行事とともにユネスコ無形文化遺産に登録される見込みで、ユネスコ登録を契機に文化の伝承を進めるとともに、広く全国に発信してきます。



大垣まつりでの出巡

## 第5次ウォーク終了と「誠信交隣賞」受賞に感謝！

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会  
会長 遠藤 靖夫

27年度の縁地連総会（11月14日・大垣市）において「誠信交隣賞」をパートナーの韓国体育振興会共々いただきました。初めて創設された賞ということで、思ってもみなかった栄誉に感激しています。交流夕食会で私は「ソウルー東京を歩く50数日の間、沿道で声援してくれる地元住民をはじめ、毎回、日韓両国の無数の人々に支えられて来たウォークです。この賞はそのような人たちと一緒にいただいたものと思っています。」と挨拶しました。



誠信交隣賞受賞

振り返ってみますと、江戸時代の第1回朝鮮通信使から400年目の2007年に歩いたのが始まりです。韓国体育振興会（宣相圭会長）は社団法人の全国組織、当方はウォーキング仲間の任意団体。組織の格で言えば横綱と幕下くらいの違いがあり、よくOKしてくれたと思います。始まってみると、自治体による歓迎式典や招待、パ



のぼり旗を先頭に大阪ー東京の行程を行く隊員たち（写真はいずれも金井三喜雄撮影）



トカーが常時、安全を確保してくれるなど韓国の運営には驚かされるばかり。一方、素人運営の日本では隊員全員がスタッフとなり、おもてなしを心がけました。東京へ近づくとつれて隊員間の交流は目に見えて深まり、ゴールは涙と抱擁の渦。「1回で終えるのは余りにも惜しい。」同じ思いの宣会長（1次－5次の正使）と祝賀会の席で「継続開催」を発表。同年秋には縁地連へ加盟しました。

2国間の首都を結んで、それも継続して開催されているのは世界でこのウォークだけです。これまで5回の開催が実現したのは参加してくれた両国のメンバー、とくに通訳として日韓の架け橋役を担ってくれる、在日韓国人隊員たちの功績です。また、韓国隊員や在日隊員と寝食を共にしながら歩くことは、日本人の隊員にとって過去の不幸な「日韓関係」を学ぶこととなります。そのせいでしょうか、「善隣友好」の旗印が共感を呼び、リピート隊員を生んで回を重ねるごとに輪が広がって来たのです。まさに継続は力なり、第5次ウォークは一層充実したものになりました。

5月22日朝、川崎から100人を超えるデューリー隊を加えて、東京・日比谷公園にゴール。日韓国交正常化50周年のせいか、日韓親善協会関係者など大勢の出迎え、サムルノリの演奏もあってにぎやかな到着風景となりました。2000キロのうち1178キロを歩きましたが、全コース踏破は日本隊員21人、韓国隊員8人と両国とも最多記録。韓国メンバーの中に江戸時代第1回通信使・呂祐吉正使の11代子孫、呂運俊さん（65）が参加して話題になりました。静岡・清見寺で先祖・祐吉の扁額と対面した場面、感激で凍りついてしまった呂隊員の姿が今も焼きついています。

うれしいことがありました。在釜山日本総領事館が催してくれたレセプションです。松井貞夫総領事から突然「日韓の全隊員を招待したい」とメールが入ったのは出発が近づいた2月下旬。松井総領事は第4次の時、韓国行程の最終日にウォーカーとして参加され、それがご縁で翌年の韓国一周ウォークにも1日だけ歩かれるなど交流がありました。この招待には小躍りしたものです。私たちは韓国内で様々な招待にあずかりながら、日本でそのようなことは夢のまた夢。国情の違いといえればそれまでですが、想像もしなかった政



在釜山日本総領事公邸で招待の日本隊員と談笑する松井総領事(左)

府機関からの招きには日本国民としての誇りさえ覚えたものです。レセプションには韓国の姜南周先生ら60人余が出席、最後は「アリラン」「ふるさと」を輪になって歌い、和やかなうちに終わりました。

岐阜県垂井町で韓国隊員のホームステイが実現したこともうれしかった。地元の郷土史家、元中学校長の太田三郎さん（94）とは1次の時に会い、その縁で町の要職にいる教え子たちが準備してくれました。翌日、ホストファミリーも大垣まで一緒に歩きましたが、別れの場面では目頭を熱くする女性隊員も多く、意義あるステイであったことを確信しました。また、同町では町民有志との交流夕食会、静岡市でも県民団や縁地連加盟団体などによる交流パーティーがあり、いずれもほのぼのとした楽しい一夕でした。初めて行程で訪問した、壺岐市の田園風景と人情、市民とのウォークも忘れがたい思い出です。

今年3月、朝鮮通信使を日韓共同でユネスコ記憶遺産登録申請をしますが、そのキャンペーン幟旗50本を縁地連から託され、沿道に自治体や関係団体などに贈呈しました。縁地連に加盟していない滋賀県、浜松市（静岡）、藤沢市（神奈川）など15県市町が快く応じてくれました。いつの日か、縁地連の仲間となることを期待したいものです。大津市の出発式では激励に駆けつけた三日月大造・滋賀県知事に地元の中尾宏先生から、静岡市歓迎式典では遠路から来てくれた松原一征理事長が田辺信宏・静岡市長に手渡しました。

多くみなさんに激励やご支援賜ったことに改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。第6次ウォークは2017年4月1日、ソウル出発です。



世界記憶遺産のキャンペーンのぼり旗が松原理事長(左)から家康役の田辺静岡市長(右)へ

## 勉強会からシンポまで日韓友好に草の根の活動を展開

FAR理事 千田 龍彦

名前通りにアジア、とりわけ韓国との友好を育もうと2007年に誕生しました。活動拠点は名古屋ですが、会員は愛知・岐阜・三重の3県にまたがり、現在64人です。貫井正之理事長はイムジン戦争（文禄・慶長の役）や朝鮮通信使を専門分野とする在野の朝鮮史研究者で、著書や講演を通じてご存知の方も多いでしょう。



約250人が詰めかけた昨年4月25日の「朝鮮通信使シンポジウムIN岡崎」

活動の柱は月1回の例会と、年に数回の勉強会です。昨年の勉強会のテーマを並べると、「韓国の鉄道」「世界記録遺産登録とは」「日本と朝鮮の焼き物の友好な歴史」「イ・ピョンフン監督論」となります。時代もジャンルも幅広いのが特徴です。

これらの通常活動とは別に、昨年は日韓国交正常化50周年や朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録運動にちなんだ活動にも積極的に参加しました。4月25日には、愛知県岡崎市で、駐名古屋韓国総領事館・韓国民団愛知県本部と共催し、「朝鮮通信使シンポジウムIN岡崎」を開催しました。韓国から2人の講師を招待し、貫井理事長が「徳川家康と朝鮮通信使」をテーマに基調講演しています。岡崎市は豊臣秀吉の朝鮮侵攻で断絶した朝鮮との国交の回復に努めた家康の生誕地です。家康の没後400年とも重なって、市民の関心も高く、大きな成功を収めました。

年末にはシンポジウムを収録した記念誌『善隣の架橋—朝鮮通信使』が発刊されました。編集はFARが担当し、講演会の開催が10年、40回を超えた「韓日歴史・文化フォーラム」の活動記録や東海地方の朝鮮通信使資料目録も盛り込みました。

会員で〈韓を描く〉画家鳥居是典さんが、在釜山日本総領事館や釜山韓日文化交流協会などの支援を受け、10月～12月に釜山市内で個展を開催できたことはFARにとっても大きな喜びでした。また、名古屋市が昨年、縁地連と記憶遺産登録の推進部会に加盟したことも嬉しいニュースです。来年の登録実現へ向けて、通信使の意義を伝える草の根の活動はますます重要になります。FARもその一翼を担いたいと考えています。



今年最初のFAR勉強会(2月20日)  
講師は鳥居是典さん

## 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進事業の報告

対馬藩に仕えた儒学者・雨森芳洲の出身地と伝えられる滋賀県長浜市では、平成27年度、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録推進事業として、朝鮮通信使と雨森芳洲をテーマにした企画展と記念シンポジウムを開催しました。



長浜城歴史博物館展示室風景

企画展は、統一テーマ「雨森芳洲と朝鮮通信使～未来を照らす交流の遺産～」

のもと、長浜城歴史博物館（会期：9月3日～10月18日）と高月観音の里歴史民俗資料館（会期：9月3日～10月25日）の2会場で開催しました。長浜市が保管する重要文化財・雨森芳洲関係資料（芳洲会所有）のほか、全国各地から記憶遺産登録候補の貴重な資料等を多数出品いただき、内容の濃い充実した展覧会を行うことができました。



基調講演

10月17日のシンポジウムでは、はじめに、「雨森芳洲の多文化共生論－未来への指標－」と題して、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会委員長仲尾宏氏による基調講演を行いました。朝鮮通信使が注目されるようになった経緯を振り返りながら、芳洲の思想が国際社会の多文化共生と今後の日韓関係にどう活かされていくべきなのかについてなど、ご講演いただきました。

続いて、三重県津市の分部町唐人踊保存会のみなさんにより、朝鮮通信使ゆかりの伝統民俗芸能「唐人踊（三重県指定無形民俗文化財）」の実演をしていただきました。異国情緒豊かな衣裳とラッパやドラを交えた演奏による舞は、時空を超え、当時の人びとが受けた朝鮮通信使のカルチャーショックが会場の皆さまに届いたことでしょう。



唐人踊



さらに、長浜市立富永小学校が毎年行っている「雨森芳洲子どもミュージカル」を映像紹介しました。これは、郷土の先人である芳洲の生涯を6幕に分け、芳洲の思想を受け継ぐ地元児童が、学年を経るごとに芳洲の生涯を追いかけていくという取り組みに、会場の人びとの大きな関心が寄せられました。

そして、朝鮮通信使ユネスコ登録の最前線に立つ先生方を講師に迎えて、パネルディスカッションを行いました。パネリストには、この日のために韓国釜山市からお招きした朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産  
韓国学術委員会委員長 姜南周氏をはじめ、基調講演者の仲尾氏、芳洲の赴任先であった対馬市から長崎県立対馬歴史民俗資料館主任学芸員 山口華代氏、近江における朝鮮通信使の経由地である草津市から草津宿街道交流館館長 八杉淳氏、そして本市から雨森芳洲関係資料の管理担当者である高月観音の里資料館の佐々木が参加し、コー



パネルディスカッション

ディネーターは長浜城歴史博物館館長の太田が務めました。まず、それぞれの立場からの事例報告ののち、活発な意見交換が行われました。

当日は、全国各地から350人もの方々が聴講に集まり、朝鮮通信使と雨森芳洲に期待以上の反響が寄せられていることを実感しました。そして、お集まりいただいた皆さまの力が、必ずや朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録の大きな推進力となることを確信しました（総合司会担当：いがしらカンパニー所属 対馬京子氏）。

※本シンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。



シンポジウム会場の様子



## 第11回復活!唐人揃いー朝鮮通信使ー多文化共生・国際交流パレード 暴風雨予報を奇跡的に覆す!

「11月15日は100%雨。低気圧が関東南岸を通過予定。十分に注意!」。約1週間前の天気予報がこれだった。この日は半年間準備してきた「復活!唐人揃いー朝鮮通信使ー多文化共生・国際交流パレード」の予定日であった。なんと最悪の事態か!誰もがそう思った。それでも実行委員会のメンバーは、粛々とパレードの作業を進めた。川越唐人揃いパレードはお金がない。だからみんな手作りだ。交通規制の看板を取り付け、関係地域の自治会にパレード案内と交通規制の時間案内の文章を配り全戸配布をお願いし、警察との打ち合わせ、緊急事態時の救急車の配置要請、パレード参加者の水の用意からスタッフのための弁当用意など有り余る事前の行動をこなしていった。もし雨だったら…?

それは無駄になるのか!いや、ならない。小さな体育館でミニパレードをする。交流することでより濃密な関係を作りあがることのできるのではないかなど、前向きに考えていた。それよりも実行委員はみんな信じていた、絶対に雨は降らない!と。今までの10回、朝まで降っていた雨もいつも止み、一度として雨に降られたことがない。だから降らない!天の助けと言うが、この唐人揃いには川越氷川神社という渡来系の神と、渡来した高句麗の王様が神になった高麗神社があり、さらに蓮馨寺という浄土宗の寺が後援している、まさに三本の矢ならぬ三つの神仏が守ってくださっているのだからと、真顔で信じているのだった(?)。前日でもまだ雨の予報があった。しかし当日の朝には小雨になり午後には止む予報になった。1時間前には完全に止み、参加団体が続々と集まってきた。そして出発の12時半にはなんと青空までがのぞき始めた。こうして第11回川越唐人揃いパレードが始まった。まさに奇蹟だった。



今年も昨年度同様に400人程のパレード参加者が多彩な衣装で集まった。中でも目を引いたのは「子ども通信使」であった。対馬から正使の衣装を借りて、それ以外は実行委員が手作りで素敵な衣装を作り上げ、募集した子どもたちが着て喜んだ。未来を

作り上げる子どもたちに、地元「唐人揃い」という素敵な歴史があり、隣国との文化交流を楽しんでいたという事実を伝えて行くことこそが、一番大切な私たちの使命だと考えて、今回はその実現に力を入れたのだった。

それと今回の正使は、在日のオペラ歌手のマドンナである田月仙さんが引き受けてくれていた。9月には新国立劇場で「ラストクウィーン」という大韓帝国最後の皇帝であった李垠の皇后になった梨本宮方子を演じきって賞賛を浴びていた。日本と韓国・朝鮮を結ぶ通信使の正使にもっともふさわしい人物だと言えるだろう。

こうして開会式の場所である蓮馨寺の境内には色とりどりの衣装に包まれた国際色豊かな参加団体が集結。そしてこれまで開会式に参加したこともなかった川越市長が参列し挨拶を行った。これは10年間の継続の力と、一昨年に関東で初めて縁地連の全国交流会が川越で行われた一つの成果だといえる。その意味で感謝したい。パレードは無事に終了し閉会式が行われた境内には、参加者による大団円の輪が広がり、喜びと平和の輪が花開いた。自力でやり始めた川越唐人揃いパレードは、10年を経て地元にしかりと根を下ろすことが出来たといえるだろう。今年、朝鮮通信使の事実が世界記録遺産に登録申請し、来年にはその実現をさせる大事な年。第12回目もさらに素敵なものにしていきたいと考えている。



## 人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内

当市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られています。また、備前長船の刀剣や寒風古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでもあります。



本蓮寺 <国・県指定重要文化財>

朝鮮通信使の接待処となった場所。室町時代に建てられた、本堂・中門・番神堂は国の重要文化財。

その中でも市南部に位置する牛窓地域は、「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したことのある本蓮寺や御茶屋跡、通信使が残した詩書など当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

さて、平成27年も市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が11月1日に開催されました。午前中は、朝鮮通信使行列が再現され、本蓮寺において正使役の朱哲完駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」を交換し、両国の善隣友好を祈念しました。午後には、牛窓町公民館で市内小学生、密陽市中学生などが韓国の伝統芸能を披露するなど、両国の友好交流を深める一日となりました。平成28年も開催の予定です。会員の皆さんも参加してみませんか。



瀬戸内牛窓国際交流フェスタ

平成22年度から民間主催で毎年秋に開催。地元小学生による韓国伝統芸能や朝鮮通信使行列など実施。朝鮮通信使行列参加者は、出発前にみんなで集合写真を撮ります。



## まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ輝き海峡都市

下関市は1976年10月11日、韓国釜山広域市と姉妹都市の盟約を締結しました。今年は40周年の記念の年を迎えます。

本市と釜山広域市は地理的にも緊密な関係にあり、日韓両国交流の窓口として友好交流促進としての一翼を担ってきました。

お互いの国の文化を理解するため、本市では様々な姉妹都市2行事を開催しています。



毎年開催する8月の「しものせき馬関祭り」では、約400年前に来日した朝鮮通信使の行列を総勢約200名の両市民で再現しています。また、翌日には、両市文化団体によるステージ公演を行なっています。

11月には、「リトル釜山フェスタ」を開催し、チヂミ・キムチ・ホルモン鍋などの韓国の食や食材、伝統音楽や舞踊などを楽しむことができます。

これらの交流行事を通じて、今後もさらなる交流促進を進めていきたいと考えています。

さて、下関は古くから人やモノが行き交った西の玄関でした。

唐戸地区には、国の指定重要文化財にも指定されている「旧下関英国領事館」、国内最古でありながら現在も郵便局庁舎として使用している「下関南部町郵便局」、竣工100周年をむかえた「旧秋田商会ビル」など明治・大正時代に建てられたレトロモダンな建物群が並びます。これらの建物群は夜ライトアップされており、ノスタルジックな思いに誘われます。

さらに、下関には激動の歴史を秘めた史跡、旧跡が多く現存しています。

平安時代末期、源氏と平家の最後の対決の場所となった関門海峡、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の地「巖流島」、高杉晋作の維新回天の挙兵の舞台となった国宝「功山寺」など、日本の歴史が転換するとき、いつも舞台の中心となりました。



また、郊外には、白い砂浜と青いエメラルドグリーン  
の海の広がる「角島」があります。「角島」は様々な映画やTV番組、コマーシャルのロケ地としてたびたび取り上げられてきました。日本海とは思えない、南国の海と見間違えるような光景は必見です。

下関の歴史と自然をご堪能いただいた後は、是非、本場の味覚「ふく・うに・くじら」をご賞味ください。  
多くの皆様のお越しをお待ちしております。

# 松 濤 園

(公財) 蘭島文化振興財団からのお知らせ。

当財団のある呉市下蒲刈島では毎年10月の第3日曜日に朝鮮通信使再現行列を開催しています。平成15(2003)年にはじまり、今年度で13回目を迎えました。今年度は日韓国交正常化50周年ということもあり、昨年度より2,200人多い8,200人が朝鮮通信使再現行列を観覧しました。その様子はまさに「島が沈むほど」と形容された朝鮮通信使来島時の興奮を見事に再現していました。今年度の行列は出演者、スタッフ合計290名に及び、徐張恩総領事の御助力により昌原市第一副市長・朴在賢氏に正使になっていただきました。在日本大韓国民団の方々や京畿国際通商高校の方々にも行列に参加いただいて華を添えていただきました。異国情緒あふれる演奏は現代の私たちが聞いても当時沿道に押し掛けた日本人と同じように心奪われるものでありました。日本で唯一の黒光りする総重量約300kgの輿や、行列が福島雁木の前に差し掛かると權伝馬船のイベントが行われ、太鼓の音と共に現れた船が豪快にターンを決めるところは他の行列には無い見どころのひとつです。地域の歴史と誇りを再現した絢爛豪華な朝鮮通信使再現行列は次回、平成28年10月16日 日曜日に開催予定です。



## 平成28年度の展示

- I) 4/13(水)～ 6/13(月) 『朝鮮通信使紀行』
- II) 6/15(水)～ 8/29(月) 『朝鮮通信使の海路』
- III) 8/31(水)～ 11/21(月) 『朝鮮通信使の行列』
- IV) 11/23(水)～ 2/6(月) 『朝鮮通信使の足跡』
- V) 2/8(水)～ 4/17(月) 『朝鮮通信使との交流』

## < 2015 主要行事実績 >

### ■ 2015 朝鮮通信使祭り

- 日 付：2015年5月1日(金)～5月3日(日)〈予定〉
- 場 所：龍頭山公園・光復路一円・国立釜山国楽院など
- 構 成
  - ・朝鮮通信使広場（朝鮮通信使縁地観光物産展・体験イベントなど）  
（5月1日(金)～3日(日)）
  - ・学術シンポジウム・3使任命式及び海神祭（5月1日(金)）
  - ・朝鮮通信使の夕べ（交流公演など）  
（5月1日(金)）
  - ・朝鮮通信使平和の行列（5月2日(土)）
  - ・日韓芸術団の交流公演（5月3日(日)）



### ■ 韓日ネットワーク事業

- 対馬厳原港祭り参加（8月1日～3日）
- 下関馬関祭り参加（8月22日～23日）
- 静岡駿府天下泰平祭り参加  
（9月17日～20日）

### ■ 朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産韓日共同登録推進経過報告会

- 日 付：2015年12月8日(火)
- 場 所：海雲台ヌリマル



### ■ 2016 朝鮮通信使祭り（予定）

- 日 付：2016年5月6日(金)～5月8日(日)〈予定〉
- 場 所：龍頭山公園・光復路一円・国立釜山国楽院など
- 構 成（案）
  - ・朝鮮通信使広場（朝鮮通信使縁地観光物産展・体験イベントなど）  
（5月6日(金)～8日(日)）
  - ・学術シンポジウム・3使任命式及び海神祭（5月6日(金)）
  - ・朝鮮通信使の夕べ（交流公演など）（5月6日(金)）
  - ・朝鮮通信使平和の行列（5月7日(土)）
  - ・日韓芸術団の交流公演（5月8日(日)） ※細部事項の計画中

### ■ 韓国側朝鮮通信使ゆかりの町交流会（仮称）設立計画中



紙本墨書「日東第一形勝」福山市重文 福禅寺蔵（朝鮮通信使世界記憶遺産候補）



福山市市制施行100周年記念事業  
**2016年度 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会**  
**開催地「福山市（鞆の浦）」**  
～「日東第一形勝」の舞台から朝鮮通信使世界記憶遺産へ～

福禅寺・対潮楼（国史跡）

2015年度、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会の開催地・大垣市から福山市教育長が、本大会旗を引き継ぎさせていただきました。次期開催地となります福山市からのご案内をさせていただきます。

福山市の鞆の浦は、瀬戸内海の中央に位置し、「潮待ち」の港町として万葉時代から栄え、国際的な賑わいも呈しました。今でもこの港町の繁栄振りを示す江戸時代の町家、古いお寺や港湾施設などの町並みがよく残されています。また、箱庭のような海島の景勝地であり、名勝「鞆公園」、「瀬戸内海国立公園」にも指定されています。

鞆の浦には、海を通じて善隣友好の「朝鮮通信使」の一行がたびたび寄港し、朝鮮通信使の高官が宿泊した福禅寺の客殿からの眺めを「日東第一形勝」と絶賛し、その客殿を「対潮楼」と命名するなど、数々の温かな交流の足跡をよく留めております。

福山市は、2016年7月1日、福山市市制施行100周年を迎えます。2010年から「21世紀の朝鮮通信使」



大会旗の引き継ぎ





鞆港での出迎（過去）

という位置づけで、国史跡の朝鮮通信使遺跡であります「対潮楼」をメイン会場とし、「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・鞆」を、毎年開催しているところですが、来る2017年3月開催予定の福山大会では、この行事を発展させて、皆様方のご協力・ご支援をいただきながら鞆ならではの行事となるように準備を進めていきたいと考えております。この時期は、風情豊かな町中を舞台とした「鞆・町並ひな祭」も開催され、かつての港町の賑わいかのように、一年中で最も華やぎ、一体的に鞆全体でお楽しみいただけるものと思っております。是非とも福山大会へ多くの皆様がお越しくださることをお願い申し上げます。



対局風景



鞆・町並ひな祭

また、2017年の春は、本協議会の大きな目標としている「世界記憶遺産」登録への最終段階を迎える大事な時期でもあります。朝鮮通信使に関係した皆様が、福山大会へ結集され、朝鮮通信使ゆかりのまちや日韓の文化交流が一層深まり、「日東第一形勝」の舞台から世界記憶遺産登録へと推進する内容と



したいと考えておりますので、重ねて、皆様方が来福、来鞆されますことをお願い申し上げます。

福山市教育委員会  
文化課

## 編集後記

NPO縁地連事務局長 阿比留 正 臣

大変お世話になっております。今年は、とにかく忙しい年でした。日韓国交正常化50周年やいろんな節目の年が重なって、よくできたなっていうぐらいたくさんのイベントを開催しました。また、1年を通してユネスコ記憶遺産の会議準備をしていた気がします。いろんなストレスのせいか3キロも太ってしまいました。というか釜山に行く度に太ってしまったような気がします（笑）

3月30日に釜山からユネスコ記憶遺産の申請書を発送しました。まだ先はありますが、やっとここまで辿り着いたという感じがします。記憶遺産の申請書作成は、主に仲尾宏委員長をはじめとする日本学術委員会委員皆様のご尽力の賜です。委員の皆様にはお忙しい中、西に東に奔走していただきました。特に、相談のしやすさか町田一仁副委員長には大変ご迷惑をお掛けいたしました。面倒でボリュームのある資料の作成から、韓国側案の内容のチェック、下関市議会の準備で忙しくされているときでも夜の10時に電話したこともありました。この場をお借りしてお詫びと御礼を申し上げます。上の写真は12月に釜山で行われた日韓共同学術会議終了後に南浦洞で撮った写真です。町田副委員長はその日の船で帰られましたが、この中に貫井正之先生の姿がないのが残念です。途中から体調を崩され学術会議にも休みがちになりましたが、お元気になられてこれからもご指導いただきたいと思います。



釜山南浦洞で

さて、2016年度はユネスコ登録推進状況の部でも報告しましたとおり、記憶遺産広報活動の年と位置づけています。国内はもとより、パリでユネスコ事務局等関係者をご招待してのセミナー等を実施する予定で準備を進めています。

2017年に登録のあかつきには大祝賀会を開催したいと思いますので、その日まで皆様のご支援をお願いいたします。

会員の皆様、今年も忙しくなりそうですよ！



釜山郵便局から朴承桓事務局長とユネスコへ発送



韓国で活躍中の女優 秋葉里枝さんと

## NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2015年11月総会時現在)

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	対馬市	観光交流商工課	長崎県対馬市厳原町国分1441
2	自治体	日光市教育委員会	文化財課	栃木県日光市中央町15-4
3	自治体	静岡市役所 生活文化局	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
4	自治体	大垣市役所	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
5	自治体	長浜市	地域振興課	滋賀県長浜市高月町渡岸寺160
6	自治体	近江八幡市役所 総合政策部	まちづくり支援課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
7	自治体	彦根市役所 企画振興部	企画課	滋賀県彦根市元町4-2
8	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
9	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
10	自治体	瀬戸内市役所	企画振興課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
11	自治体	福山市教育委員会	文化課	広島県福山市東桜町3-5
12	自治体	呉市役所	観光振興課	広島県呉市中央6-2-9
13	自治体	上関町教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
14	自治体	下関市役所	市民文化課	山口県下関市南部町1-1
15	自治体	彦岐市教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
16	自治体	白山市	文化財課	石川県白山市倉光2-1
17	自治体	名古屋市	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
18	自治体	たつの市	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
19	団 体	青丘人権文化の会	八木勝子	大阪府門真市南野口町23-3
20	団 体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
21	団 体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊		山口県熊毛郡上関町室津549
22	団 体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-6
23	団 体	唐子踊保存会	会長 吉川 悟	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓5013
24	団 体	芳洲会		滋賀県長浜市高月町雨森1166
25	団 体	朝鮮通信使行列振興会		長崎県対馬市厳原町国分1441
26	団 体	対馬芳洲会	小島武博	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
27	団 体	「静岡に文化の風を」の会	佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
28	団 体	唐辛子の会		静岡県伊東市池614-16
29	団 体	東京対馬会	幹事長 糸瀬敬一	東京都大田区大森中2-6-6
30	団 体	日朝協会東京都連合会		東京都千代田区三崎町2-11-13
31	団 体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
32	団 体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
33	団 体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
34	団 体	兵庫津・朝鮮通信使を知る会	尹 達世	兵庫県神戸市長田区腕塚町3-3-5
35	団 体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
36	団 体	呉史談会		広島県呉市西中央1-6-15-201
37	団 体	対馬観光物産協会		長崎県対馬市厳原町国分1441
38	団 体	(財) 蘭島文化振興財団		広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
39	団 体	NPO 辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール		東京都港区元麻布2-3-34
40	団 体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
41	団 体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
42	団 体	対州海運株式会社	松原一征	長崎県対馬市厳原町久田道1661
43	団 体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
44	団 体	株式会社 コミュニティメディア		長崎市出島町1番43号
45	団 体	在日本大韓国民団京都府地方本部	地方団長 王清一	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
46	団 体	鞆の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
47	団 体	ギンザ柳々舎	代表 梁 順喜	東京都中央区銀座3-11-1
48	団 体	川越唐人揃いパレード実行委員会		埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
49	団 体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
50	団 体	釜山素木會	会長 朴 洪圭	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92
51	団 体	朝鮮通信使地域史研究会	仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
52	団 体	相島歴史の会	事務局 今村公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
53	団 体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
54	団 体	NPO法人 日中韓から世界へ	代表 牛尾恵子	埼玉県狭山市水野646-6
55	団 体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呉 公太	東京都港区南麻布1-7-32
56	団 体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
57	団 体	静岡市商工会議所	会長 後藤康雄	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
58	団 体	特定非営利活動法人 AYUドリーム	理事長 雨宮令子	特定非営利活動法人 AYUドリーム
59	団 体	在日本大韓国民団山口県本部	団長 韓 賢澤	山口県下関市東大和町2-13-10
60	団 体	在日本大韓国民団福岡県本部	団長 呉 政夫	福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-17
61	団 体	NPO法人 フレンド・アジア・ロード	理事長 貫井正之	愛知県名古屋市中種区池上町3-10-1

(個人)

No	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	地域史研究部会	安 田 和 幸
2	個人	地域史研究部会	井 手 久美子
3	個人	地域史研究部会	井 上 敬 二
4	個人	地域史研究部会	井 上 美登里
5	個人	地域史研究部会	永 留 史 彦
6	個人	地域史研究部会	塩 谷 朝 三
7	個人	地域史研究部会	奥 村 隆 幸
8	個人	地域史研究部会	岡 部 良 一
9	個人	地域史研究部会	加 堂 貞 幸
10	個人	地域史研究部会	丸 尾 とし子
11	個人	地域史研究部会	岩 川 龍 一
12	個人	地域史研究部会	橋 本 洋 一
13	個人	地域史研究部会	郷 司 泰 仁
14	個人	地域史研究部会	玉 貫 信 也
15	個人	地域史研究部会	金 洪 圭
16	個人	地域史研究部会	原 田 省 三
17	個人	地域史研究部会	原 田 共 子
18	個人	地域史研究部会	原 嶋 理恵子
19	個人	地域史研究部会	戸 田 和 吉
20	個人	地域史研究部会	呉 満
21	個人	地域史研究部会	高 正 晴 子
22	個人	地域史研究部会	轟 博 志
23	個人	地域史研究部会	佐々木 悦 也
24	個人	地域史研究部会	佐々木 正 行
25	個人	地域史研究部会	佐 川 昭

No	種別	会 員 名	氏 名
26	個人	地域史研究部会	佐 畠 儀 子
27	個人	地域史研究部会	三 宅 理 一
28	個人	地域史研究部会	山 口 久 範
29	個人	地域史研究部会	山 崎 富 代
30	個人	地域史研究部会	山 田 雄 彦
31	個人	地域史研究部会	市 山 等
32	個人	地域史研究部会	紙 上 勝 美
33	個人	地域史研究部会	篠 崎 寅 喜
34	個人	地域史研究部会	柴 村 敬次郎
35	個人	地域史研究部会	徐 賢 夔
36	個人	地域史研究部会	小 泉 和 夫
37	個人	地域史研究部会	小 田 章 恵
38	個人	地域史研究部会	小 椋 勉
39	個人	地域史研究部会	庄 野 伸十郎
40	個人	地域史研究部会	松 岡 睦 彦
41	個人	地域史研究部会	松 本 正 子
42	個人	地域史研究部会	上 月 香 澄
43	個人	地域史研究部会	上 西 法 子
44	個人	地域史研究部会	上 村 順 造
45	個人	地域史研究部会	信 原 修
46	個人	地域史研究部会	新 本 直 登
47	個人	地域史研究部会	仁 位 孝 雄
48	個人	地域史研究部会	杉 田 功
49	個人	地域史研究部会	西 谷 隆 行
50	個人	地域史研究部会	千 葉 俊 樹



No	種別	会 員 名	氏 名
51	個人	地域史研究部会	浅 野 慎太郎
52	個人	地域史研究部会	村 田 景 昭
53	個人	地域史研究部会	村 田 ミチ工
54	個人	地域史研究部会	多 賀 俊 介
55	個人	地域史研究部会	中 尾 清
56	個人	地域史研究部会	中 野 悦 次
57	個人	地域史研究部会	中 嵩 玲 子
58	個人	地域史研究部会	中 澤 慶 輝
59	個人	地域史研究部会	仲 尾 宏
60	個人	地域史研究部会	町 田 一 仁
61	個人	地域史研究部会	長 岡 武 司
62	個人	地域史研究部会	薦 村 和 雄
63	個人	地域史研究部会	坪 井 雄一郎
64	個人	地域史研究部会	田 中 解 子
65	個人	地域史研究部会	島 祐二郎
66	個人	地域史研究部会	島 津 義 昭
67	個人	地域史研究部会	藤 本 弘 子
68	個人	地域史研究部会	梅 本 明 則
69	個人	地域史研究部会	八 木 静 恵
70	個人	地域史研究部会	夫 学 柱
71	個人	地域史研究部会	武 内 禎 子
72	個人	地域史研究部会	福 永 知佐子
73	個人	地域史研究部会	福 田 浩 一
74	個人	地域史研究部会	片 山 真理子
75	個人	地域史研究部会	芳村笙子(子供2人)
76	個人	地域史研究部会	北 村 久 代
77	個人	地域史研究部会	北 村 欽 哉
78	個人	地域史研究部会	堀 ちず子

No	種別	会 員 名	氏 名
79	個人	地域史研究部会	堀 田 広 治
80	個人	地域史研究部会	末 本 雛 子
81	個人	地域史研究部会	袁 田 俊 輔
82	個人	地域史研究部会	柳 永 烈
83	個人	地域史研究部会	柳 原 一 興
84	個人	地域史研究部会	鈴 木 英 夫
85	個人	地域史研究部会	鈴 木 真 弓
86	個人	地域史研究部会	和 田 佐喜男
87	個人	地域史研究部会	尹 芝 恵
88	個人	地域史研究部会	尹 大 辰
89	個人	地域史研究部会	盧 桂 順
90	個人	地域史研究部会	齋 藤 健 司
91	個人	地域史研究部会	寛 真理子
92	個人	地域史研究部会	裴 順 姫
93	個人	個人会員	原 田 令 嗣
94	個人	個人会員	高 田 好 浩
95	個人	個人会員	山 梨 涉
96	個人	個人会員	盛 月 寿 美
97	個人	個人会員	前 林 孝一良
98	個人	個人会員	早 川 育 子
99	個人	個人会員	村 上 和 弘
100	個人	個人会員	大 賀 正 行
101	個人	個人会員	渡 辺 泰 子
102	個人	個人会員	萩 原 昭 一
103	個人	個人会員	鈴 木 宏 久
104	個人	個人会員	蓮 池 章 平
105	個人	個人会員	中 村 洋一郎
106	個人	個人会員	松 井 三 郎

誠信交隣21  
縁地連だより No.19

発行日 2016年(平成28年)3月31日  
 発 行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会  
 〒817-0022  
 長崎県対馬市厳原町国分1441番地  
 TEL 0920-53-6111  
 FAX 0920-53-6112  
 HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>  
 印 刷 (資)厳原印刷所





2015年11月 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in おおがき